

緑が丘小学校

学び合い、ともに育つ

～教室の言葉から表現力を育む授業づくり～

陽南地域学校園で授業研究会

～表現力の向上を目指して～

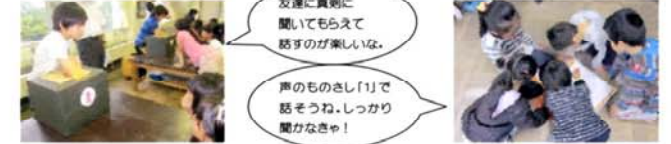
昨年度から引き続き、表現力の向上を目指した授業研究を行っています。宇都宮大学の森田香緒里先生、宇都宮市教育委員会の川口和伸先生を指導助言者として招き、地域学校園での研究会を4回開きました。授業参観後、少人数に分かれ研究協議会を行いました。森田先生からは、「言葉は不変でないと育たない」との指導を受け、私たち授業者は豊かな環境や支援に課題意識をもつことができました。



Three boxes: 1. 会話科の時間 (Conversation time) - 高学年はコミュニケーション力と読解力を高める。2. 日常の指導 (Daily guidance) - 人の話をよく聞く授業を心がける。3. 家庭で育つ国語力 (Language skills at home) - 家庭での読書習慣を大切にする。

～児童の具体的な学びの姿から～

4年生会話科「ブラックボックス(思いを伝えよう)」活動後の児童のふりかえりでは、「楽しかった」と表現意欲が高まりました。さらに、「うまく言葉で表現することができた」など、技能面のふりかえりができる児童も増えました。



中学校からの乗り入れ授業

～教科が増え、さらに充実！～

今年度は、国語、算数、社会、英語、図工、音楽の乗り入れ授業がありました。昨年度の国語、算数、英語の3教科から6教科に増え、幅広い取り組みに児童も喜んでいました。



陸上競技指導

～中学生の先輩から学ぶ～

小学校陸上大会に向けての練習が始まった10月中旬、中学校の陸上部の現役部員が効果的な練習方法をアドバイスしました。一緒に走ったり、跳んだり、手本を示しながら丁寧に教えていました。中学生の先輩からの指導は、分かりやすく技能も高まりました。



陽南地域学校園では、コミュニケーション能力を育てるため、ペアやグループでの話し合い活動を意図的に取り入れた授業の展開や、話し方・聞き方を身に付けさせるための指導法の工夫などに取り組んできました。他校の研究授業を参観したり、研究会に参加したりして、各校のよさを学び合うこともできました。

また、家庭学習の習慣化についても力を入れて取り組み、昨年度小学校4校で作成した「家庭学習のヒント集」を年度初めに全児童に配布し、指導に活用してきました。今年度は、中学校の「家庭学習のヒント集」も完成しました。

今後は、学力向上の手立てとして、小中で指導すべき基本的学習習慣について検討し、継続した指導を行っていききたい。

陽南小学校

学び合い、助け合い心身ともに健康な子ども

～自ら進んで健康について考え、行動できる子どもの育成～

Two boxes: 1. 各教科・領域における授業の中で、小集団による話し合い活動、全体への情報発信の活動を積極的に取り入れることで、言語活動の充実を図り、コミュニケーション能力の育成を図ります。 2. 6年生の総合的な学習の時間「健康宣言」では、健康に関する自分たちの身近な課題を設定し、調べ学習を行い、ワークショップ型の発表を行いました。聞いている人に分かりやすい説明となるよう、発表の仕方や資料の提示の仕方など、工夫するなど、発表の内容だけでなく伝え方についても学ぶことができました。

《児童会活動》

本校では、縦割り班活動として年間5回の友だちタイムを設定し、ロング休みにも様々な遊びを通して仲間づくりと健康づくりを行ってきました。各グループ1年生から6年生までの14、5人で構成され、活動内容は、毎回、6年生が中心となって遊びの内容を話し合いで決め、活動後は振り返りの時間をとって一人一人が感想や意見を言う場を設けています。その他にも企画委員会主催の縦割り班での児童集会を行っています。今年度は健康に関するクイズの答えをみんなで考えたり、グループで協力して体を動かしながら点数を競うゲームを行いました。



陽南小学校

人とかかわり、仲間とともに伸びる

～伝え合い、学び合い、認め合う児童の育成～

コミュニケーション能力を育てるため、「気持ちの良いあいさつ」「聞き方のコツ」などのソーシャルスキルを学んだり、「ご指名です」「聖徳太子ゲーム」などのエクササイズを行ったりしています。テーマは、全学年共通ですが、発達段階に応じたため適切に行います。クラスみんなで元気なあいさつ練習をしたり、ロールプレイで気持ちを表現したりして、子供たちも生き生きと取り組んでいます。水曜日の朝の活動として、みやびタイムと交互に、年間19回実施しています。

Two boxes: 1. 元気が出る「おはよう」「さよなら」 2. エクササイズ「ご指名です」

認め合い高め合う場を設定した授業の展開

友達との情報交換・意見交換の場を設定し、積極的なコミュニケーション能力の育成を図る授業を工夫・改善してきました。全体で話し合う時には、「聞き方あいさつ」「話し方さくさく」を意識させ、学年に応じたコミュニケーション力が身に付くよう指導しています。グループでの話し合いでは、司会などの役割を決め、話し合いの型を示した指導を行っています。高学年では、自然とリーダーシップをとる児童も出てきて、フリーワークも活発に行う姿が見られるようになりました。

Two boxes: 1. 6年生道徳「自分の意思で」 今まで我慢して不本意なグループに入っていた主人公が、グループをぬけたいと言ってくるのが、このまま我慢してしまうのか、自分の立場を明確にして、その理由を伝え合っています。自分と違う意見を聞き、本音で語り合っていました。 2. 1年生図工「造形遊び」 色紙、折り紙、牛乳パック...どんな材料を使おうかな。小グループになって、自分の思いを伝え合うことで、自信をもって造形活動に入ることができました。

陽南中学校

基礎・基本の習得と活用

および コミュニケーション能力の育成

朝の読書

生徒が数多くの本と出会い、読書の楽しさを知るとともに豊かな感性を育てるため、朝の読書の時間を8時20分から10分間、行っています。朝の読書の後に朝の会を実施しています。読書の量と質を高めるため、「私の読書日記」に読書の感想を記録することによって読解力を高め、1か月に9冊読むことを目標にして読書量を高めるよう取り組んでいます。また、図書室からクラス単位で貸し出し冊数の多いクラスと生徒を表彰しました。今年より、中学校3年間で読んだ本「陽南中学校必須図書100選」を定めています。

コミュニケーション能力を高める授業の展開

Multiple boxes: 1. 会話科では、1年生の英語の時間に①アイコンタクト(視線)②スマイル(表情)③ジェスチャー④ハート(心)の4つのルールを掲げ、会話活動を進めました。 2. 1年生「百人一首を覚えよう」 会話科では、国語の授業で本市にゆかりのある古典文化「百人一首」に取り組み、鑑賞、朗読、暗唱することを通して言語感覚の育成を図っています。 3. 2年生「宮っ子チャレンジワーク」 活動にともないあいさつではお辞儀の仕方、言葉づかいなど再確認しました。 4. 1年生数学「規則性をみつける」授業 3人のグループ学習を取り入れ、規則性を確認し、他者に説明する授業を行いました。 5. いろいろな授業で、コミュニケーション能力を高めるために、いろいろな目的に応じて、ペア、グループ、一斉授業など、授業形態を変えながら、授業を行っています。

横川西小学校

豊かな心を持ち、学び合う児童を目指して

～国語科を中心とした伝え合う力の育成～

本校では、児童が、自分の思いや考えを伝えて伝え合い、互いに学び合うことのよさを味わうことができよう、国語科の授業を中心に研究に取り組んできました。

Multiple boxes: 1. 3年生「えらんだ理由を話そう」 「旅行するなら、車か、電車か。」などの話題について、自分の考えと理由を、友達に分かりやすく伝えました。 2. 6年生「新聞の投書を読み比べよう」 4つの投書を読み比べながら「説得するための工夫」を見つけました。 3. 1年生「はなしたいな ききたいな」 「夏休みのとくだね」の発表会に向け、スピーチメモをもとに話す練習をしました。 4. 2年生「だいたいお話をきいて聞こう」 メモに取る必要と意図を持たせるために、「アイスクリーム」を題材に選びました。 5. 5年生「パネル討論をしよう」 パネル討論に向けて、個人の意見を整理してグループの意見にまとめる上での観点を示し、付箋紙に書いた個人の意見を観点別に貼っていくことで、共通点や相違点が明確になり、話し合いもスムーズに進められました。 6. 4年生「みんなで話し合おう」 話し合いを行う「話し合いグループ」と、それを観察、評価する「観察グループ」とに分け、1対1のペアで進めました。